

Intelligent Business Routing (IBR)

オートトラッキング、グレーディング、サニタイジング、リイメージング、リポーティングなどの機能により、IT資産へのITADのビジネスプロセスを簡素化し加速します

重要ポイント

- ✓ 顧客ニーズに合わせて完全なカスタマイズが可能
- ✓ 自動化されるので、オペレーターによる作業が軽減され精度が向上
- ✓ 高効率：高速処理、ダウンタイムなし、労働コストは軽減
- ✓ 革新的：タスクを単独のワークステーションに統合するなど、以前は不可能であった作業を実行する
- ✓ Blanco Management ConsoleとBlanco Management Portalを通してプロセスは全体で共有されるため、分散しているオフィス同士で操作の標準化が可能

Intelligent Business Routing (IBR)を使ってお客様のITADビジネスプロセスを加速します

この業界初のソリューションは、リカバリおよびリセールのマーケットに投入するIT資産のトラッキング、グレーディング、イレーシング、リイメージング、リポーティングのためのリソースを最小化させます。Intelligent Business Routingのツールはカスタム可能なワークフローで構成されています。これは使用中のデバイスの処理に必要な、広範囲の業務用アプリケーションとシームレスに一体化します。

Intelligent Business RoutingとBlanco Drive Eraser

Intelligent Business Routingは情報機器資産の処分 (ITAD) のための新しいビジネスプロセス管理 (BPM) ツールです。Intelligent Business Routingは、Blanco Drive Eraserと御社の業務処理およびグレーディングツールと連動して、デバイスのデータ消去、デバイスの状態診断、特定のパラメータに基づく並べ替えなど、プログラムにより使用済みIT資産を移動するシステムです。

Intelligent Business RoutingはITADの工程全体におよびBPMのための戦略的ソリューションとしてBlanco社の特許を取得したワークフロー技術を利用し、業務処理の自動化レベルを次の段階に押し上げます。すなわち、自動化はデータ消去に留まらず、デバイスの処理エコシステム全体に適用されます。

その結果、使わなくなったドライブやデバイスを受け取って再び売り出すまでに必要な時間が劇的に短くなる、堅牢で使いやすいサブスクリプションサービスになるのです。

作業時間を削減しながら デバイスの商品化を加速

IBRは特定のタスク (例: 起動、消去、レポート、状態確認、終了など) を実行するウィジェット/アクションを搭載したワークフローが特徴です

1

ワークフローの定義、
実行を行う Blancco
Management Consoleと
Blancco Drive Eraser間
の一連のコマンドをベース
にしています

2

それらのコマンドをまとめ
て、非常に簡単なプロセス
から複雑なプロセスまで、
高度にカスタマイズ可能
なワークフローを生み出し
ます

3

次に、システムが消去を含
むアセット処理を**自動で実
行**します。オペレータによる
操作は必要ありません。

すでに使用中のグレーディングと処理ツールと統合します

IBRは、デバイスのグレーディングからアセット検索およびリイメージングプロセスまで、アセット管理システムとその他の外部アプリケーションと統合する複数のワークフローを組み込んでいます。

例えば、IBRの統合機能により、お客様特有の手続きを簡単に調整し、開始します。ある銀行から預かった端末にはNIST Clearレベルにまで消去したい、しかしある病院から預かった端末には、端末の診断も含めたDoDの3回上書きを使って不具合が出始めたドライブを消去したいという希望がある場合、IBRは各顧客に対してこれらのプロセスをカスタマイズする作業に関わる人手を実質的にゼロにすることができます。

ITADは要件別の処理がいくつあっても、ほぼすべての要因に基づく様々なプロセスを通してデバイスを自動的にルーティングすることもできます。これにより処理速度が改善し、ITADは市場性の高いデバイスと、再利用可能な部品やリサイクル可能なコンポーネント用に最高の状態でデバイスを分けることができます。例えば、デバイスタイプ、ハードウェアの構成、さまざまなコンポーネントの状態などに基づいて、各セグメントのカットオフラインを決定できます。

簡単にプログラムされたIBRは、すぐにでも再販できるようなプレミアム製品と、パッケージで売られるような価値の低い製品など、それぞれに異なるプロセスを指定できます。これらは全て自動化されかつ反復が可能なので、プロジェクト毎にその場しのぎで決定したりすることがなくなり、デバイスを受け取ってからその価値を回収するまでの時間が短縮されます。



カットライン以下のデバイスについて、テストした部品を販売することにより投資利益率を最大限にすることができます。

カットライン以下のデバイスには販売可能な部品という宝の山があります。IBRがあればそれを見つけてテストすることができます。

例：

- ソリッドステートドライブ
- LCDディスプレイパネル
- キーボード
- メモリー
- プロセッサ
- Wi-Fiカード
- メディアドライブ

カットラインの意思決定を自動化して資産選別を加速

価値あるIT資産を選別することは、時間がかかり、非常に人手に頼るタスクです。IBRではこの作業を加速し、人手を掛けずに適切な工程を経て自動的に市場性の高い資産をルーティングできます。

- ✓ IBRはハードウェアの構成、使用年数、コンポーネントの品質、デバイスの状態、筐体のタイプ、プロセッサの年代、RAM容量など、御社特有のカットラインファクターに基づき資産を選定します
- ✓ 御社の業務規程に準じた消去と処理と消去を行うためのアイテムを速やかにかつ自動的にルーティングできます
- ✓ 自動化されたワークフローで、その場しのぎの意思決定はもちろん、資産の選別に必要な人手による作業がなくなり、販売までの時間が加速します

デバイスの価値を決定するための診断テストをダイナミックに開始

御社のカットラインに比べて資産が下がる場所がわかったら、その価値をどのように正確に判断しますか？

IBRでは各デバイスに適切な診断テストを自動的に開始し、どの資産が再販、リサイクル、あるいは部品用に保管に最適かを判断できます。

御社の診断時間を大幅に削減しながら、各資産から最大限の価値を取り出し始めましょう：

- ✓ 簡単にプログラム可能なコマンドを使って、高度なオペレータートレーニングの必要性を最小限にします
- ✓ ワークフローを使用して、ハードウェア構成、使用年数、デバイスの状態、コンポーネントの品質などに基づき速やかに資産を評価します
- ✓ 市場性のあるアイテムの次のステップを効果的に決定します
- ✓ 販売できないデバイスについては、どの部品が再利用又はリサイクル可能かを評価します

カットラインとダイナミック診断に加えて、消去フォールバックメカニズムが構成され、人手による処理を最小限に抑えながら消去成功率が向上します

汎用性が高いのに使い方が簡単なIBRがあれば、ITADオペレータはワークフローの簡素化、手作業の自動化、ダウンタイムのゼロ化、さらにリサイクルや再販用にデバイスを処理する際に使われる多様なITADシステムの一本化が可能になります。

Intelligent Business Routingにおける御社の作業工程の簡素化および加速化についてお知りになりたい場合は、担当営業に直接ご連絡ください。または、個別のデモンストラーションをご希望の場合は、[お問い合わせの方へご連絡ください](#)。